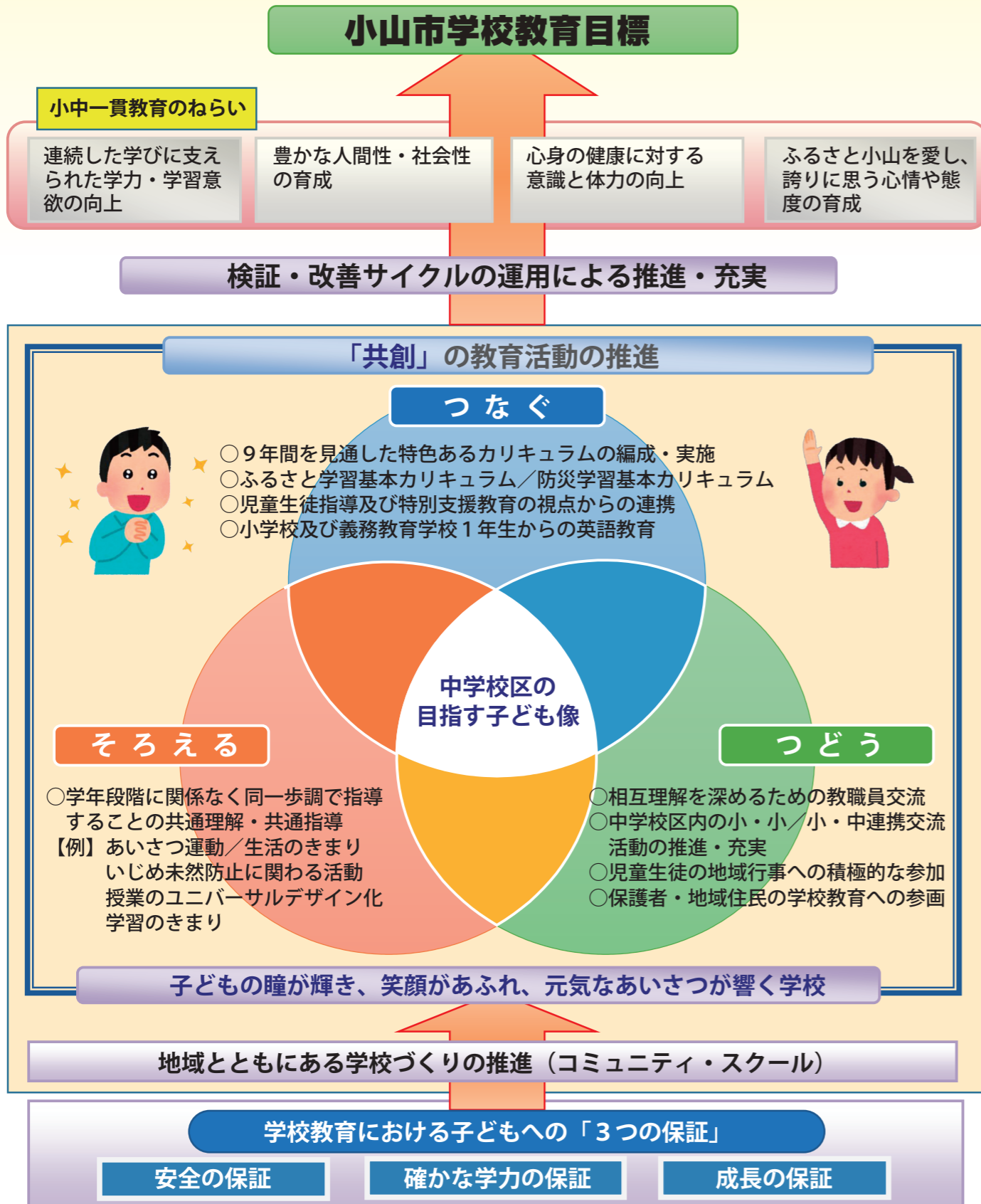


「つなぐ」、「そろえる」、「つどう」をキーワードとした 小山市型小中一貫教育

■小山市の進める小中一貫教育グランドデザイン

学びや育ちを「つなぎ」、指導を「そろえ」、みんなが「つどう」小山市の小中一貫教育



2017(H29) 4月 全面実施

ふるさと小山に愛着と誇りを持ち、これからの時代をたくましく生きる子どもを育てる

小山市小中一貫教育推進基本計画【概要版】

2017年度(平成29年度)～2021年度(平成33年度)

～「子どもの瞳が輝き 笑顔があふれ 元気なあいさつが響く学校」づくりを通して～



小山市教育委員会

【ねらい】

- 連続した学びに支えられた学力・学習意欲の向上
- 豊かな人間性、社会性の育成
- 心身の健康に対する意識と体力の向上
- ふるさと小山を愛し、誇りに思う心情や態度の育成

1 中学校区の実情に応じた小中一貫教育

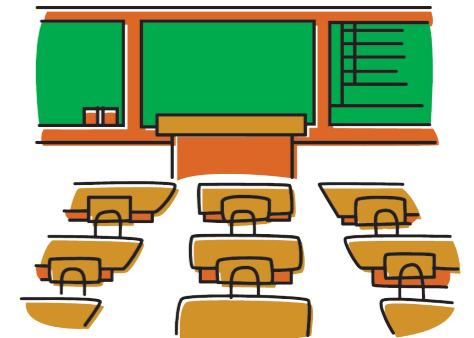
- 11 中学校区の立地条件、児童生徒の実態や、地域の実情に応じた制度や形態で推進していきます。



2 学年段階の区切りの考え方と指導計画

～ 学びや育ちを「つなぐ」～

- 義務教育9年間の「基礎・基本期」、「習熟・接続期」、「充実・発展期」の「4・3・2」という学年段階の区切りとします。特に、小学校から中学校への円滑な連携・接続を図るために、「習熟・接続期」に重点をおいた指導を行うことを基本とします。
- 中学校区の教職員が**目指す子ども像を共有**し、それに向けてさらに伸ばしてほしいことに焦点をあてた**指導計画を作成**し、教育活動を展開します。
- **ふるさと学習**と**防災学習**については、すべての中学校区で実情に応じ工夫しながら実施します。
- 英語教育では、小学校段階から、英語で表現する機会等の充実を図り、本市独自の指導計画をもとに、コミュニケーション能力の基礎を育み、中学校外国語科学習につなげます。



■ 学年段階の区切りの考え方

基礎・基本期
学習への興味・関心をもたせ、基本的な学習習慣や生活習慣の確立を図る

小1 [1年]

小2 [2年]

小3 [3年]

小4 [4年]

小5 [5年]

小6 [6年]

中1 [7年]

中2 [8年]

中3 [9年]

小学校 [前期課程]

習熟・接続期

小・中学校の教職員が協働して接続の充実を図る

充実・発展期
自立して生きる力を育む

中学校 [後期課程]



3 実効性ある教職員組織体制の構築

～ 学びや育ちを「つなぐ」、指導を「そろえる」～

- 各学校の**小中一貫教育推進教員**を中心に、小中学校の文化の違いや必要性を共通理解するとともに、中学校区の児童生徒の課題や教育目標等を共有するために、指導体制を整え、互いに学び合う取組を推進します。



4 交流活動の充実と地域との協働の促進

～ みんなが「つどう」～

- 異学年児童生徒による交流をとおして、社会性や他者を思いやる豊かな心を育みます。
- 小中学校及び小学校同士の連携を密にし、児童・生徒指導や教育相談、特別支援教育等に関する情報交換会や合同研修会を計画的に実施します。



5 検証改善サイクルの運用による推進・充実

- 5ヶ年の見通しをもってそれぞれの取組を振り返り、次に生かしていくことで、小中一貫教育の充実を図っていきます。

